

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-234	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
9 開隆堂	CI 706	Ambition English Communication I		

1. 編修の基本方針

(1) 英語学習における「聞く」「読む」「話す（やり取り・発表）」「書く」を総合的に伸ばすことができるよう、レッスンそして教科書全体を構成する。

4技能5領域の言語活動を有機的に関連づけ、中学校までに培った英語でのコミュニケーション能力をさらに総合的に伸ばすことができるよう、各レッスンそして教科書全体の構成に配慮した。レッスンでは一定量の長文を読むこと、音声を聞くことに関連させた自然な流れの中で、英語を書くこと、英語でやり取り・発表する活動を位置付けた。さらに、「読む」「聞く」「話す（やり取り・発表）」についてはそれぞれ独立したページを設け、教科書を通して充実した英語学習、そして英語でのコミュニケーション活動が行えるように配慮した。

(2) 英語でのコミュニケーション能力を総合的に伸ばすことができる、言語活動の充実。

英語でのコミュニケーション能力は4技能5領域の総合的な能力であることに鑑み、各レッスン末では個々の題材に関連した内容での言語活動を配置した。新しく学んだ言語材料は具体的な言語活動の中で身に付けるようにし、リスニング活動からはじまり、自分の意見を書いて発表する活動や、クラスメイトと比較するなどのやり取りをする場面を設定するなどの工夫を凝らした。

(3) 生徒の興味と関心を高め、学習意欲を喚起する題材。

異文化理解、日常生活、物語、環境、生き方、職業、科学など幅広いジャンルから題材を精選した。本文は生徒が知的な興味をもって楽しく英語の学習が進められるよう発見や意外性のある内容のものを柱に選定し、語学学習だけにとどまらず、教科横断的な学習ができるよう特段の配慮をした。また、教材としての適切性に配慮して、生徒に身近で知的発見のある題材、取り組みやすい言語活動を数多く配置して、生徒の意欲的な発話につなげることを重視した。

2. 対照表

本教科書は教育基本法、学校教育法に則って編修したが、以下に特に教育基本法第2条（教育の目標）に典型的に対応する部分を示す。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ番号)
題材の配列・構成	「真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」については、教科書の全題材を通して教科の目標に迫ることで達成できるよう配慮した。「幅広い知識と教養を身に付け」ることができるよう、高校生の知的興味・関心をより一層高めることに資するように、各題材の選定と扱いを行った（第1号）。	全 Lesson
教科書全体の活動	全課の課末において、ペア活動やグループ活動を通して互いに学び合い、高め合う活動が行えるように配慮した。また、ペアやグループでの議論の題材を設定するなどにより、お互いの意見の異同を確認し、尊重する態度を養うことによって、個人・集団としての正義と責任、自他の敬愛と協力の精神が養成されるようにした（第3号）。	全Lesson
Lesson / Reading	幅広い知識・教養の獲得だけでなく、真理を求める豊かな情操と道徳心、健やかな身体を養うことに寄与する題材の課を設けた（第1号）。	全Lesson
	個性を尊重し、それぞれの能力が発揮される個性を発揮する中で、それらを将来の生活や職業に結び付けることができるような題材の課を設けた（第2号）。	Lesson 4, 5, 9, 10
	正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことに寄与する題材の課を設けた（第3号）。	Lesson 1, 3, 5, 10, Reading
	自然科学や環境をテーマに掲げ、生命・自然・環境保全の態度を養うことに寄与する題材の課を設けた（第4号）。	Lesson 2, 6, 8, 9
	日本の伝統文化と並んで、異文化を理解し、尊重する態度を養うことに寄与する題材の課を設けた（第5号）。	Lesson 7
Optional Reading	本文の内容に関連したまとまった英文を各レッスン末に配置し、それぞれ我が国における活躍した人物や歴史的な建造物、自然科学や環境、言語や人権に関する課題などを取り上げた。自然科学や環境をテーマに掲げ、生命・自然・環境保全の態度（第4号）、日本の伝統文化ならびに異文化を理解し尊重する態度（第5号）を養えるような題材を選定し、総合的に主体的な社会形成に参画する態度（第3号）を高められるように配慮した。 また、生徒が各題材について自らの経験や生活と関連させて考えることができるように工夫した。生徒がそれぞれの個性を大切にしながら、それらを将来の生活や職業に結び付けて考えることができるように配慮した（第2号）。	Lesson 6 ～ 10

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 学習への動機づけと学習の目標を明確にする工夫

各レッスンの扉ページには題材内容を象徴的に表した図版を大きく用いて、個々の題材に関する生徒の興味・関心を喚起できるように工夫をした。また、図版の下には Get Ready のコーナーを設け、題材に関する予備的な知識を活性化させることを通じて、各課の題材への導入をより容易に行うことができるように意を注いだ。

また、各レッスンの本格的な学習に入る前に、生徒が学習する内容を前もって概観し、自らの学習目標を設定する際に役立つよう、Points of the Lesson のコーナーを設けた。その設定に際しては、4技能5領域への対応だけでなく、英語学習さらには現代社会に生きるために必要なトピックへの興味・関心を高めることができるように配慮した。

(2) 英語を的確に理解したり、伝えたりする能力をいっそう伸ばす工夫

英文を読むために身に付けるべき読解スキルを学ぶ Reading Skills のページを4箇所設けた。巻末には Discourse Marker のページを設け、高校1年生段階で知っておきたいものを、その機能別に紹介した。

(3) 読み取りを通じて深く理解し、英語による表現力をいっそう伸ばす工夫

各課の巻末には英問英答の要約問題と Q&A のコーナーを設け、本文のポイントとなる内容を問う英問英答問題によって、本文内容についての理解度を確認するとともに、英語で答えるための十分な表現力を涵養できる工夫をした。これらにより、本文の内容理解を深め、英語による自己表現力を1年間で伸長できるよう特段の意を用いた。

(4) 英語で発表する力、やり取りをする力を伸ばすための工夫

中学校までに学習した英語でのコミュニケーション能力をさらに伸ばすため、各レッスン末には Exercises と Communication のコーナーを配置した。新しく学んだ言語材料を確認しながら、4つの英語技能を伸ばすことを目的として構成された Exercises と、コミュニケーション能力をいっそう伸ばすための Communication のコーナーに加えて、英語でやり取りをする力、発表する力を伸ばすにあたっての注意点を3箇所に設けた Tips for Communication のコーナーにおいて取り上げた。また、巻末には Phrases for Presentation, Phrases for Conversation という英語での発表・プレゼンテーションおよび対話において有効に機能するフレーズをまとめて掲載し、英語でのやり取り、発表を実践する際のモデルとなるように工夫した。

(5) 音声指導の練習の工夫

「発音できない英語は聞き取れない」という考えのもと、ネイティブ・スピーカーの話す英語と同じスピード・発音で話せるようになるための練習として、4箇所に設けた Listening and Speaking Skills のコーナーでは、英語を話す際に重要な点をまとめて学ぶことができるように配慮した。

(6) 語彙力を効果的に拡充する工夫

通常課の英文に出現した語に含まれる接頭辞・語根・接尾辞を提示して語形成の規則を学習する Expand Your Vocabulary のコーナーを2箇所設けた。コミュニケーションを支え、自己表現力を豊かにする語彙力をいっそう拡充する工夫をした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-234	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
9 開隆堂	CI 706	Ambition English Communication I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す」という学習指導要領の外国語科の目標を、英語コミュニケーション I という種目が定める 3 単位の授業時数で実現するために、特に以下のような点を工夫して編修し、特色とした。

(1) 編修上特に意を用いた点

- ア. 中学校までに伸ばしたコミュニケーション能力を踏まえ、五つの領域の言語活動を有機的に関連付け、四技能を統合的に育成することを編修上の最大の目的とした。
- イ. 外国の生活や文化について理解を深め尊重する態度を育成するとともに我が国の伝統文化を見直し、これを諸外国に発信していくための技能の育成にいつそう資するとともに、豊かな心を育み、国際社会に生きる地球市民を育成するための題材を豊富に取り上げた。
- ウ. 言語の使用場面は、「英語コミュニケーション I」の目的を達成するのにふさわしいものを適宜取り上げ、五つの領域にわたる四技能を有機的に組み合わせ総合的に活用できるように、新しく学んだ言語材料を活用する機会としての **Exercises** と、各 **Lesson** の題材に関連した話題について取り上げた **Communication** の活動をすべての **Lesson** 末に配した。言語活動を設定する際には、生徒一人ひとりが自身の意見を表現する力を養うことができるだけでなく、ペアワークやグループワークなどを通じて場面特有の表現に慣れ親しみながら、コミュニケーション能力が効果的に養えるよう工夫を凝らした。
- エ. 英語でのコミュニケーションを生き生きとしたものとするため、生徒の日常的なことがらだけでなく、より広い視点での社会的なことがらをカバーしつつ、自らの問題に引き付けて考えてコミュニケーション活動を行うことができるよう、総合的な視点から教科書全体を通して題材の選定を行った。
- オ. 「発音できない英語は聞き取れない」という考えのもと、音声については独自のページ (**Listening & Speaking Skills**) を 4 箇所配し、聞く力、話す力を伸ばす活動を設定した。読む力についても、**Lesson** および **Reading**、また **Lesson** の末にある **Communication** の対話音声、巻末のスク립トを参照しながら **QR** コードから英文の読み上げ音声にアクセスできるようにすることで、他の領域と関係させる工夫をした。
- カ. 英文を読むために身に付けるべき読解スキルを学ぶページ (**Reading Skills 1~4**) を配し、英文に書かれた情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえながら通常課の英文を効率的に読み進めることができるよう工夫した。
- キ. 接頭辞・接尾辞を提示して語形成の規則を学習するページ (**Expand Your Vocabulary**) を 2 箇所配し、コミュニケーションを支え、自己表現力を豊かにする語彙力が体系的に養えるよう工夫した。
- ク. 英語によるスムーズな授業実施を促すため、活動の指示文は無理のない範囲で、英語で表現した。

ケ. 英語で発表する力を高めるための注意点やコツを学ぶページ (Tips for Communication) を 3 箇所配し、中学校までに学習した内容をふまえながらも、英語でのコミュニケーション能力をさらに高めるための入り口として機能するように工夫した。

(2) 特色(全体構成と各課の構成, 題材など)

●本書の構成

全体を通して、英語でのコミュニケーションに必要な五つの領域を万遍なく伸ばすことができる構成となるように特段の配慮をした。各 Lesson では 3, 4 パートで構成される一定量の英文の読解を中心としながらも、読解力だけでなく、総合的な英語力を高めることができるよう工夫を凝らした。具体的には、まず英文を読んだあとに内容の理解度を確かめる活動を配することで、何度も英文を読む必然性を持たせている。そして、新しく学んだ言語材料を活用する機会 (Exercise), また本文の内容に関連するトピックについての対話を聞き取り、生徒一人ひとりが自分のまとまった意見を書き、やり取り発表・発表する機会 (Communication) をすべての Lesson で行う設定をした。

中学校からの接続を考慮し、主に前半の Lesson では中学校で学習した言語材料の中でも生徒によってはつまづきやすいものを厳選して取り上げ、中高英語学習のスムーズな接続に配慮した。また、一定量の英文を読みこなす力を伸ばすことを念頭に置きながらも、題材への興味・関心をさらに広げるために、Lesson 5 以降の Lesson の直後にはそれぞれの英文中で触れられていた内容に関連した話題を取り上げ、Optional Reading として掲載した。なお、すべての生徒が授業内に必ず取り組むものとはせず、生徒が負担と感ずることがないように 200 語程度を目安として教材としての精選を行った。また、Lesson と合わせて総合的な英語でのコミュニケーション能力を伸ばすことができるよう、Reading Skills, Listen & Speaking Skills, Tips for Communication, Expand Your Vocabulary のページを各 Lesson 間に配した。短時間で効率的な学習ができるように配慮した。

このような本書全体の構成を踏まえ、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばす」ために、五つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつそれらを統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成できるように、以下のような構成とした。

●Lesson の構成

各 Lesson ではセクションごとに見開きの紙面構成とし、見開き中に登場する新出の言語材料・語句・重要表現、そして英文の内容の理解度を確認したり理解を促したりする英問に加え、読み取り段階、題材に関する補足事項をそれぞれの項目が一目でわかるように配置した。

ア. **Get Ready** : 題材内容についての興味・関心を喚起するための英語による導入問題。英語で投げかけを行い、題材に関する背景的知識を活性化させることで、題材内容への導入をより容易に行うことができるよう工夫した。学習内容への関心や意欲を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することを目的としている。

イ. **Points of the Lesson** : 生徒が各 Lesson で学習する内容を前もって概観し、自らの学習目標を設定する際に役立つ項目を示したもの。四技能五領域だけでなく、現代社会に生きるために必要なトピックへの興味・関心を高めることを目的としており、各 Lesson での学習目標を個々の生徒が把握するための指針として機能することを目的としている。

ウ. **本文** : 目標とする事項を含んだ本文を読んで、その理解および定着を図る。各 Lesson の総語数は、中学校までの英語学習を念頭に置きながらも段階的に分量を増やすと同時に、生徒への学習段階に応じて段階的にコミュニケーションを支える英文読解力を涵養できるよう特段の意を用いた。また、生徒が中学校までに学習してきた約 2200 語の上に、新たに約 500 語の新語を加え、本文全体を構成した。とりわけ Lesson 3 までに中学校で学習した言語材料の一部を再び取り上げ、くり返し学習することで、それらの確実な定着を図れることに意を配した。脚注には、新出語句に加え、新出の言語材料と重要表現については例文を配し、指示代名詞や語句の具体的内容や本文に関連した生徒自身の意見を問う英問英答の設問である **Question** を設け、本文で読み取った内容の概要や要点を生徒がより確実に理解できるように工夫した。

エ. **Comprehension** : 本文の主題や概要の把握を助ける問題である **Summary** と、本文の内容と合致するものを選ぶ正誤判定問題である **Questions** を配した。本文の概要把握を促し、情報や考えを的確に理解したり伝えたりする能力を更に伸ばすことに加えて、英語による設問を配することによって英語で読み英語で考える力を伸ばすことができるように工夫した。また **Summary** は、本文を一定の語数で要約する力をつけるための最初のステップとなるよう、空欄補充形式（Lesson 10 を除く）を採用した。将来的には生徒自身が英語で要約文を書くことができることを念頭に置き、書くためのモデル文になるように教科書全体を通して **Summary** の語数を一定に収めるように配慮した。

オ. **Communication** : 英語でのコミュニケーション能力を伸ばすために必要なことは、五つの領域それぞれに個別にアプローチするのではなく、すべてを総合的に活用して伸ばしていく活動が必要であるという目的のもとに配した活動である。本文の内容に関連する対話を聞く活動から始まるが、内容を理解するだけでなく、日常的な話題、社会的な話題についての生徒の関心を高めることができるよう対話の内容を精選した。対話を聞いたあとには、聞いた話題についての自分の意見をまとめる活動を設けた。意見をまとめるにあたって、生徒が効果的に発信の手順を学ぶことができるよう、モデル文や手助けとなる表現を付した。意見の発表および生徒間の意見のやり取りを行う際には、自由度を高め、即興性のある生きたコミュニケーション活動が行えるように、個々の生徒が興味のある話題を持ち寄って活動できるように配慮した。

カ. **Grammar** : 本文で学ぶ新出の言語材料や文構造のまとめと補足を行うページである。簡潔な説明とともにわかりやすい例文を提示することで、学習内容を整理し、定着が図れるよう配慮した。また、必要によっては関連する内容を体系的に提示することで、学習者が効率的に学べるように意を配した。

キ. **Exercises** : 各 Lesson で学習した新出の言語材料を確認するだけにとどまらず、言語活動を通して深く身に付けるための活動を配した。言語材料を理解し、使いこなすための練習として十分に機能するよう、なるべく生徒に身近な話題を取り上げ、無理なくできるように配慮した。**Grammar** と合わせて見開きページで配することにより、必要に応じて **Grammar** のページも適宜確認することができるよう、使いやすさという視点から、生徒が確実に学習内容の確認・定着を図れるような工夫を凝らした。

●Lesson 以外の内容と構成

ア. **Reading** : 一定の分量の文学的な文章を読みこなす力をつけることを目的とする。学習した読解スキルを活用しながら本文の要点を把握するだけでなく、英語での文学的な表現に慣れ親しむことで更に英語を読む力、コミュニケーションや表現の幅を広げることができるよう意を用いた。

イ. **Optional Reading** : Lesson 5 以降の Lesson 末に配した、各 Lesson の題材に関連する内容で 200～260 語程度の英文を読むことを目的とする。文の要点やパラグラフ構成、論理展開などに着目し、それらに応じた英文読解を実践する練習となるために適した語数を設定し、また内容の理解度を確認する問題を配している。学習状況に合わせ、カリキュラム編成における無理が生じない活動とするように工夫した。

ウ. **Reading Skills** : 英文の読解力を伸ばすことができるよう、読解に必要不可欠な技能を 4 箇所にかけて系統的に示した。要点をまとめて示しつつも、簡単な練習問題でその内容を確認できるように工夫した。

エ. **Listening & Speaking Skills** : 聞くことと話すことを個別に考え本文の内容をまとめた図表などを完成させる問題。学習した読解スキルを活用しながら本文の要点やパラグラフ構成、論理展開などに着目しそれらに応じた英文読解を実践することを通じて、情報や考えを的確に理解したり伝えたりする能力を更に伸ばせるよう意を用いた。

オ. **Expand Your Vocabulary** : 本文の内容をまとめた図表などを完成させる問題。学習した読解スキルを活用しながら、本文の要点やパラグラフ構成、論理展開などに着目し、それらに応じた英文読解を実践することを通じて、情報や考えを的確に理解したり伝えたりする能力を更に伸ばせるよう意を用いた。

上記のように、学習指導要領外国語科英語コミュニケーション I の目標と内容が十分達成できるような構成・内容になるよう特段の工夫をした。

2. 対照表

図書の構成・内容		主な言語材料など	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 1	For Better Communication	基本5文型 / 不定詞 / 助動詞① (時制) / 動名詞	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①アイウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.7-19	6
Lesson 2	Want a Pet? How about a Capybara?	助動詞② (可能・能力・許可) / S + V + O + 動詞の原形 / It is ~ (for...) + 不定詞	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①アイウエオカ ②ア 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.21-33	6
Lesson 3	Grace Darling	関係代名詞 / 分詞の形容詞的用法 / 付帯状況のwith / 仮目的語 のit	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.35-47	6
Lesson 4	Soccer and Foreign Languages	現在完了 / 過去完了 / 現在完了 進行形 / 関係代名詞の非制限用法	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.49-61	6
Reading	The Story of Gellert	中世ウェールズの物語	第2款 2(1)アイウ (2)アイウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(2)	pp.63-72	6
Lesson 5	Raising Awareness of the Handicapped	助動詞 + 受け身 / 関係副詞 / S + V (= be動詞以外の動詞) + C (= 分詞)	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.73-85	6
	Optional Reading Hadaka no Taisho: Yamashita Kiyoshi		第2款 2(1)アイウ , 3(2) 第3款 2(5)(6)(9)	pp.86-87	(1)
Lesson 6	Problems Behind Self-Driving Cars	S + V + O + 不定詞 / 仮定法過去 / 助動詞③ (推量)	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.89-99	5(1)
	Optional Reading The Translation Apps		第2款 2(1)アイウ , 3(2) 第3款 2(5)(6)(9)	pp.100-101	(1)
Lesson 7	An Inspiring Figure in Modern Japan	倒置 / S + seem + 不定詞 / It seems + that節 / 無生物主語	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.103-115	6
	Optional Reading Kumano Kodo: Old Pilgrimage Routes		第2款 2(1)アイウ , 3(2) 第3款 2(5)(6)(9)	pp.116-117	(1)
Lesson 8	A New Symbol of Singapore	分詞構文	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.119-131	6
	Optional Reading Lee Kuan Yew Former Prime Minister of Singapore in His Own Words		第2款 2(1)アイウ , 3(2) 第3款 2(5)(6)(9)	pp.132-133	(1)
Lesson 9	Reaching for New Rocks	比較級を使った最上級表現 / S + V (+ O ₁) + (O ₂ = if [whether]節) / 仮定法過去完了	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.135-147	6
	Optional Reading Why did I Write <i>We Will Rock You</i> ?		第2款 2(1)アイウ , 3(2) 第3款 2(5)(6)(9)	pp.148-149	(1)
Lesson 10	The Power of a Woman's Will to Make Changes	比較級 and 比較級 / not以外の否 定を表す副詞	第2款 2(1)アイウエ (2)アイ ウ (3)①イウエオカ ②アイ, 3(1)(2) 第3款 2(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)	pp.153-165	6
	Optional Reading A Study Tour Report from Smoky Valley of the Philippines		第2款 2(1)アイウ , 3(2) 第3款 2(5)(6)(9)	pp.166-167	(1)

図書の構成・内容		主な言語材料など	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Tips for Communication 1 ~ 3	1. 英語を話すとき・聞くときの基礎 / 2. 英語で発表する前の準備 / 3. 発表をするとき、終わったとき	英語で発表・やり取りする際の 注意点やコツの学習	第2款 2(1)ア (2)アイウ 第3 款 2(5)(7)	p.6, 88, 168	1.5
Reading Skills 1- 4	1. スラッシュ・リーディング / 2. パラグラフの構成 / 3. ディスコ ス・ マーカー / 4. 必要な情報をす ばやく見つける (スキャニング)	英語を読む、書く際の注意点や コツの学習	第2款 2(1)イウ (2)アイウ 第 3款 2(5)	p.20, 48, 118, pp.150-151	4
Listening & Speaking Skills 1 ~ 3	1. 母音と子音 / 2. 音に関わる現象 / 3. 英語のイントネーション, 音 の強弱	英語を聞く、話す際の注意点や コツの学習	第2款 2(1)アウ 第3款 2(2)(5)	p.34, 102, 134	1.5
Expand Your Vocabulary	接頭辞 / 接尾辞	語いの強化	第2款 2(1)ウ 第3款 2(5)	p.62, 152	1
				計	73(6)

教科書全体の英語		教科書で使用されている英 文は全て、現代の標準的な 英語を使用するように配慮 した。 第3款 2(4)	全Lesson	-
Optional Reading		中学校までの学習内容に加 えて、辞書を活用するように 配慮した。 第3款 2(6)	Lesson 5 ~ 10 課末	各1
・ 新出語 : 545語 ・ 中学校までに学習し た語 : 2,244語 ・ 連語及び慣用表現		第2款 2(1)ウ, 3(2) 第3款 2(2)(4)	本文ページ 脚注	-